



12月の園だより

令和4年12月1日

目黒区立八雲保育園 園長

1歳児が玄関ホールで箱押し遊びをしていました。目指す先へどうにか方向転換させながら箱を押すのは簡単ではありませんが、自分の力で進める喜びと楽しさでとにかく忙しく動いています。一人の子が箱の中に入っていると別の子がやってきて、半ば強引に入り込みました。“ケンカになりそうだ”と心配で見守っていると、先に入っていた子は拒否することなくむしろ歓迎しているようで、二人は狭い箱の中で体を寄せ合って笑っています。しばらくして、後から入った子が箱を出て別の場所に向かうと、先に入っていた子は「おーで（おいで）」と呼びます。「もっと一緒に遊ぼうよ」と言っているようでしたが、その時は思いが叶いませんでした。4月に初めて出会った二人は、そこから一緒に楽しく遊ぶ経験を積み重ねてきたのでしょうか。遊びの空間を共有する時間が子ども同士の関係性の広がりを現わしていました。

1歳児の遊びを見ていると、体も心も開放してエネルギーを発散させるように「大きく動く」なのだと感じます。例えば、発達の手筋では玩具を“積む”よりも“壊す（崩す）”遊びが先であるように、粗大運動から始まり、徐々に細やかな動きが出来るようになっていきます。“何でも壊す、困ったな…”と受け止めるよりも、壊しながら試し、手足の感覚や使い方を覚えていくと捉えると、子どもの行動は違った見方になっていきます。箱押しも平坦な場所だけでなく斜面を乗り越える、スピードに強弱をつける、箱の出入りがスムーズになるなど、遊び方の変化からも成長を感じ取ることが出来ます。職員一人ひとりが専門性をもって様々な角度から子どもの姿を見ていくことで、成長発達に見合った適切で丁寧な援助を行っていきます。

12月行事予定

わくわく発表会

(3・4・5歳児クラス・保護者参加)

中旬 身体計測 避難訓練

※12月29日(木)～1月3日(火)は
年末年始のお休みとなります。

1月行事予定

新年おめでとう会

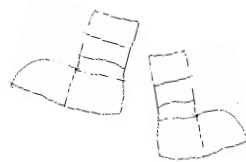
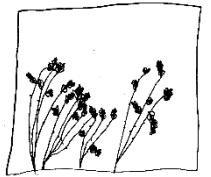
乳児お楽しみ会

中旬 身体計測 避難訓練

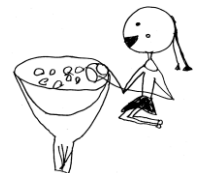
クラス懇談会

5歳児クラス

4歳児クラス



苗から育てたぼくたち、わたしたちのお米



4月下旬に5歳児クラスと一緒にいった田植えから約半年が経ち、今年も立派に稲が育ちました。昨年の冬場から土作りを行い、夏の水やりや藻を取り除く作業等、子どもたちが一生懸命に世話をした米作りの活動でした。9月下旬に楽しみにしていた稲刈りを行いました。稲刈りにはハサミを使用しましたが、稲を一本ずつ丁寧に刈り取る子もいれば、一気に一株を刈り取ろうとする子もいます。やり方は様々ですが、稲を手にする時「先生、取れた」とどの子も嬉しそうでした。脱穀は一粒、一粒根気よく取り組み、現在は粳すりに奮闘しています。12月には、丹精込めて仕上げたお米を美味しく炊いて食べる予定です。子どもたちは、どんな風に食べようかと今から楽しみにしています。

ドキドキの『わくわく発表会』

～各クラスの見どころをご紹介します～

ぺんぎん組（3歳児クラス）

紙コップを使って保育士が絵本に登場する動物人形を作り、絵本に沿って演じてみると、子どもたちは「私もやりたい」と好きな動物の紙コップ人形を作り始めました。出来上がった人形を保育士や友達と動かしていると徐々に物語の世界に入り込み、登場する黒い影の存在を怖がったり、ホッとしたりして動物の気持ちになって演じることを楽しんでいました。

劇ごっこでは「何の役をやるのかな」「次はこれをやろう」と様々な役を楽しんでいます。大好きな物語の中の動物になったつもりで動きを自由に表現し、屈託のない笑顔で友達とやり取りして楽しんでいます。



いるか組（4歳児クラス）

劇中に「世界で一番強いのはだれ」という台詞が度々登場します。子どもたちに自分が演じる役はどんな風に強いと思うか質問してみると、同じ役同士の友達と「〇〇はこんなことが出来るから強い」「強く見えるにはこうやった方がいいかな」と意見を言い合っています。時には「それいいね。それ（その動き）にしよう」と友達の考えも取り入れながらセリフや動きを決めていました。劇の取り組みを進める中で絵本には無い役も登場させたいという意見が出て、登場の仕方も皆で考えました。

役のイメージを膨らませ、気持ちはすっかりなりきって、自分達で考えた台詞を言いながら本番に向けて楽しんでいます。



しろくま組（5歳児クラス）

子どもたちは、物語の中の「ひらけーごま」という呪文が面白くて、ワクワクしながら何度も絵本を開き、ストーリーを楽しんでいました。配役決めではそれぞれにやりたい役があり「こんな風に言いたい」と台詞を考え、その台詞を友達とやり取りすることが楽しくて笑い合っています。「ここに木があるといいよね」「こっちから出てくる方が面白いんじゃない」「大きい声で言う方がいいね」等、どうしたらもっと面白く見えるか、舞台上演することを想像しながら考える姿もありました。友達の提案に対して「それいいね」「面白いと思う」と認め合うことで、一人ひとりの自信にも繋がっています。

自分たちが楽しんで劇を作り上げていくことで、観に来てくれた人達にも楽しんでもらいたいという思いで取り組んでいます。



ことば遊び・リズム打ち・竹踊り

劇の他に、日頃楽しんでいる遊びを披露します。

3歳児クラスは「ことば遊び」です。保育士がめぐる紙芝居の絵に合わせ、1から10までの数のことば遊びをします。繰り返し楽しむことですっかり覚え、自信を持ってテンポ良く言っています。

4歳児クラスは「リズム打ち」です。歌に合わせて手を叩いたり、床を足で鳴らしたり、リズムに合わせて両隣の友達と手と手を触れ合ったりします。体が簡単な楽器になったような楽しい遊びで、友達と一緒にリズムを取ることを楽しんでいます。

5歳児クラスは「竹踊り」を披露します。昨年度の年長児がやっていた姿を覚えていて「片足を上げて、両手は腰だよ」とポーズや足の運び方を確認したり、竹の置き方を変えてみたりしながら様々な踊り方にも挑戦しています。自分のペースだけでなく、友達の動きを意識しながら踊るのは簡単ではありませんが、毎日取り組むことを楽しんでいます。